

HCV-RNA 定量／RT-PCR(TaqMan)				2311300	
				担当部署	
TaqMan HCV				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→感染症・ウイルス→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	1 1 黄色	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		提出後 7 日間			
生物学的基準範囲		設定なし			
臨床判断値		設定なし			
基準値					単位
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		HCV-RNA の測定は、 1.HCV 抗体が中～低力価の場合の既往感染と HCV 持続感染(キャリア)の鑑別、 2.HCV 抗体が高力価の場合のウイルスの増殖状態、 3.急性 C 型肝炎の早期診断、 4.抗ウイルス療法の効果判定 などにおいて有用である。 HCV 抗体が中～低力価の場合には既往感染が含まれることが多いため、HCV RNA 測定検査を行い、ウイルス血症の有無を確認する必要がある.HCV-RNA が陰性であれば、既往感染の可能性が高い。 一方,HCV 抗体が高力価の場合には、HCV-RNA はほとんど陽性であるため,HCV-RNA 測定検査を行い,HCV-RNA 量からウイルス血症の程度(増殖状態)を評価する。 急性 C 型肝炎の診断においても、HCV 抗体の陽性化には感染後通常 1－3 カ月を要するため(ウインドウ期)、この時期には HCV RNA 測定検査が有用である。 また、抗ウイルス療法(ペグインターフェロン、ペグインターフェロン＋リバビリンの併用療法など)の選択、治療中および治療後のモニタリングや効果判定、経過観察などにおける臨床的有用性が認められている。 日本臨床第 7 版 5,2009,450			